

F★★★★

ホルムアルデヒド放散抑制

未来を築く次世代の選択

LUXE MUKI

外壁用

水性1液超高耐候性無機有機ハイブリッド塗料

ラグゼMUKIトップ

弱溶剤形2液超高耐候性無機有機ハイブリッド塗料

ラグゼMUKIトップマイルド

 **KANSAI**
PAINT

ハイブリッド無機 その選択が 未来を創る。

無機と有機の融合から生まれた次世代塗料、
「ラグゼMUKIシリーズ」。

ハイグレードの耐候性が
建物を長寿命化へと導きます。
塗り替えサイクルを最適にする選択が、
未来の安心を形にします。

無機の力を活かす 無機有機ハイブリッド技術

当社独自の「無機有機ハイブリッド技術」により、「強さ」と「柔軟性」を融合した塗膜が
超高耐候性を発揮。過酷な環境から建物を長期に保護します。



強さの無機

無機成分は、太陽光（紫外線）や酸性雨などにも
強く耐久性が高いのが特徴。
硬く強い反面、脆さという性質がある。



柔軟性の有機

有機成分は、建物の動きや変形にも対応し、
ひび割れや剥がれを防ぐための
高い柔軟性が特徴。

紫外線劣化に耐えるラジカル制御技術

過酷な環境に曝される建物。特に紫外線は、塗膜や素材を劣化させるため、
紫外線に強い塗料選びが大切です。

4つのラジカル制御技術で、塗膜劣化の原因物質「ラジカル」の発生を根本的に抑えます。

動画でチェック



高性能ハイブリッド無機

超強力な結合エネルギーを持つ「高性能ハイブリッド無機」で紫外線劣化を抑制



UVトラップ

「UVトラップ」で紫外線を吸収し劣化を低減



ラジカルバリアコート

酸化チタンへの紫外線到達によるラジカル発生を抑制



HALSラジカルキャッチャー

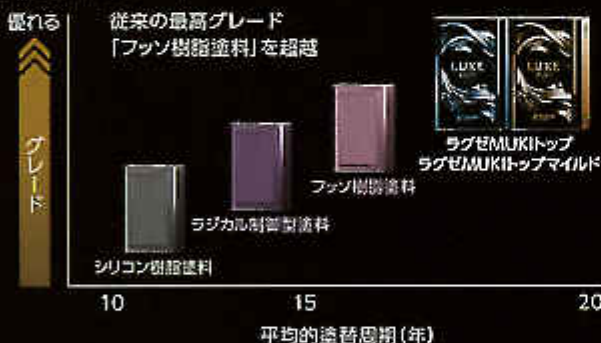
極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは「HALSラジカルキャッチャー」で捕獲し無害化

Fusing Technology

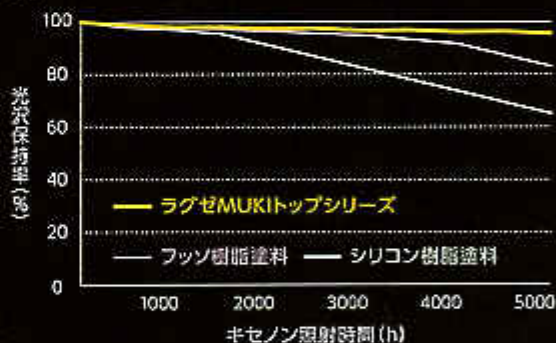
「無機有機ハイブリッド技術」と「ラジカル制御技術」の融合

「ラグゼMUKIシリーズ」は、紫外線に強い超高耐候性のハイブリッド無機と、
ラジカル制御技術を融合したハイグレードの塗料です。

塗料のグレード

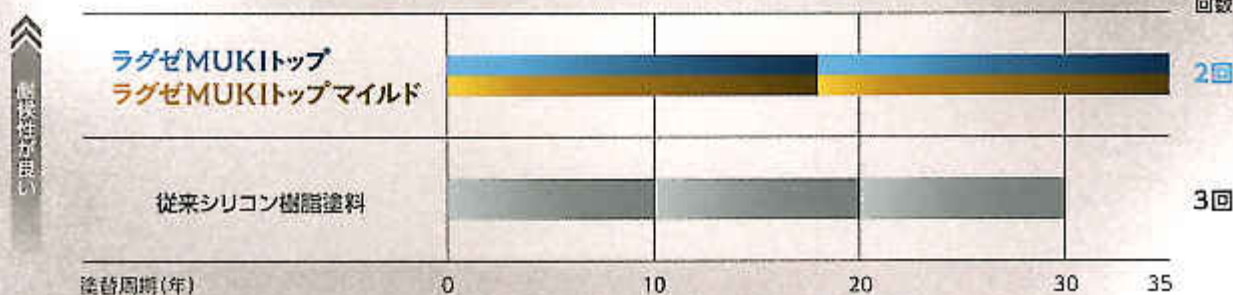


促進耐候性試験結果



塗り替えサイクルを考えた最適な選択を

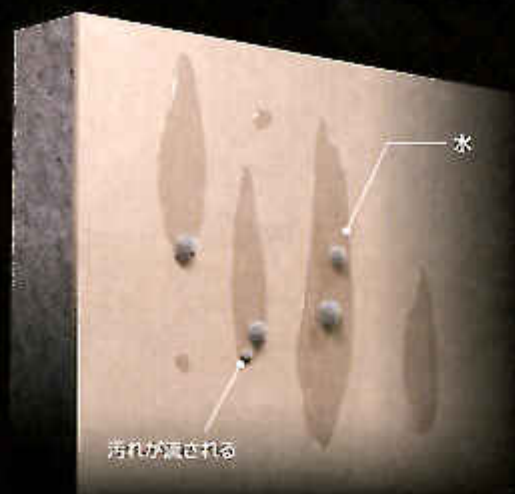
塗り替え工事の頻度を少なくできる塗料選びで、長期的な視点でコストパフォーマンスを向上します。



※塗り替え年数は目安です。建物の立地条件や環境などによって異なります。

§ 超低汚染

親水性の塗膜を形成することで、付着した汚れを雨水が流し落とします。雨だれ等を低減し建物の美観を維持します。



汚れが流される

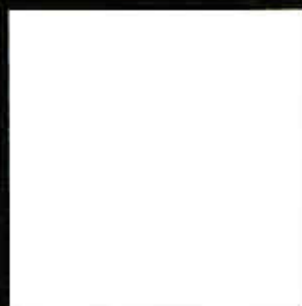
水

親水性調（水に濡れやすい塗膜）

屋外パクロ試験結果（6ヶ月 当社比）



ラグゼMUKIトップシリーズ



従来シリコン樹脂塗料

親水性が高いと汚れが落ちやすい

§ 防カビ・防藻性

湿度の高い建物の北側などで発生しやすい、カビや藻の発生を抑制し、建物の美観を維持します。

防カビ性



ラグゼMUKIトップシリーズ



比較
防カビ・防藻剤を
有さない一般塗料

防藻性



ラグゼMUKIトップシリーズ



比較
防カビ・防藻剤を
有さない一般塗料

§ 良好な仕上り

抜群の塗りやすさに加え、肉持ちのあるしっとりとした高級感ある質感が仕上がりを良好に保ちます。

§ 弾性下地にも対応

硬い特性を持つ無機を、弾性下地にも追従する柔軟性を持たせ、ひび割れに強い塗膜を形成します。

§ 周辺環境にも配慮

臭気が少なく作業環境にもやさしい塗料です。

§ 特性と幅広い素材適正

製品名	特性			素材適正				
	性状		臭気	コンクリート モルタル・ALC	珪藻系 サイディング	金属系 サイディング	鉄・亜鉛メッキ アルミニウム	木部
ラグゼMUKIトップ	水性	1液	○	○	○	—	—	—
ラグゼMUKIトップマイルド	弱溶剤	2液	△	○	○	○	○	○

※各種素材に対し下塗りが必要となります

■ ラグゼMUKITOP標準塗装仕様

一般外壁仕様 **適用下地** 窯業系サイディングボード、コンクリート、モルタル、ALC、各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	希釈率 (重量%)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。						
下 塗	アレスダイナミックシーラーアグア	ベース:12.5kg 硬化剤:2.5kg	0~10 (上水)	0.13~0.20	1	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー
上 塗	ラグゼMUKITOP	15kg 4kg	0~8 (上水)	0.12~0.14	2	2時間以上7日以内	ハケ・ローラー

※標準所要量は被塗物の素材・形状、塗装方法などにより増減することがあります。

一般外壁仕様 **適用下地** 窯業系サイディングボード、コンクリート、モルタル、ALC、各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	希釈率 (重量%)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。						
下 塗	アレスダイナミックプラサフⅡ	15kg	無希釈※1	0.25~0.40	1	4時間以上7日以内	中毛ローラー
上 塗	ラグゼMUKITOP	15kg 4kg	0~8 (上水)	0.12~0.14	2	2時間以上7日以内	ハケ・ローラー

※標準所要量は被塗物の素材・形状、塗装方法などにより増減することがあります。

※1 冬場など塗料粘度が高い場合は、上限2%まで希釈可能です。これ以上に希釈すると防腐性が低下したり、ひび割れ等が生じたりする恐れがあります。

一般外壁仕様 **適用下地** コンクリート、モルタル、ALC、各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	希釈率 (重量%)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。						
下 塗	アレスダイナミックフィラー	16kg	5~10(上水) 1~5 (上水)	0.30~0.50 0.80~1.50	1 1	8時間以上7日以内 8時間以上7日以内	中毛ローラー 多孔質ローラー
上 塗	ラグゼMUKITOP	15kg 4kg	0~8 (上水)	0.12~0.14	2	2時間以上7日以内	ハケ・ローラー

※標準所要量は被塗物の素材・形状、塗装方法などにより増減することがあります。

※下塗には、アレスダイナミック防水フィラー、アレスダイナミックシーラーマイルド、アレス水性エポキシ樹脂、浸透形Mシーラー、エコカデオンシーラー、アレス弾性ホルダー防水形なども使用可能です。

■ ラグゼMUKITOPマイルド 標準塗装仕様

一般外壁仕様 **適用下地** 窯業系サイディングボード、コンクリート、モルタル、ALC、各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	希釈率 (重量%)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	劣化した旧塗膜をディスクサンダー・スクレーパー・皮スキ・ワイヤーブラシを用いて除去する。エフロ・レタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去する。モルタルの場合、浮き・クラックなどは適切な処置を行う。窯業系サイディングボードの場合、欠損、シーリング材の劣化部などは適切な処置を行う。						
下 塗	アレスダイナミックシーラーマイルド	ベース:12.5kg 硬化剤:2.5kg	無希釈	0.12~0.18	1	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー
上 塗	ラグゼMUKITOPマイルド	ベース:12.9kg 硬化剤:2.1kg	0~10 (塗料用シンナーA)	0.12~0.14	2	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー

※標準所要量は被塗物の素材・形状、塗装方法などにより増減することがあります。

金属面仕様 **適用下地** 鉄部・亜鉛メッキ・アルミ・ステンレス・ガルバリウム鋼板・金属サイディング・各種旧塗膜

工 程	塗料名・処置	荷 姿	希釈率 (重量%)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。さびは電動工具やサンドペーパーなどを用いて除去し、被塗面を清掃する。素地露出部は下塗を用いて補修塗料を行う。						
下 塗	アレスダイナミックプライマー	ベース:14.4kg 硬化剤:1.6kg	0~10 (塗料用シンナーA)	0.13~0.15	1	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー
上 塗	ラグゼMUKITOPマイルド	ベース:12.9kg 硬化剤:2.1kg	0~10 (塗料用シンナーA)	0.12~0.14	2	4時間以上7日以内	ハケ・ローラー

※標準所要量は被塗物の素材・形状、塗装方法などにより増減することがあります。

- 環境汚染物質が溜まり発生するような箇所への塗装は避けてください。塗膜は薄く、ふくれなどの異状が発生するおそれがあります。
- はかり用シンナーや地盤への直接噴射・下塗りには使用しないでください。ひびみ、ちぢみ、割れなど発生する場合があります。
- 建築中の乾燥した躯体で、結露や雨漏りなどの水分の影響を受けた場合、成形性低下を招く場合があります。次の要領に注意しおそれがある場合は、塗装を控えてください。
- 養生布と塗料で覆い置ける場所(フック等で覆った色を通り重なる場合などは)、前工程の塗膜が塗料用シンナーで溶解しないこと、硬化剤を含む塗料の上塗りを行ってください。
- 底面塗りを仕上げる場合は、下塗り後すぐに自然干しを繰り返すように塗装を行ってください。
- つや消滅品で有機物の塗料が主となる場合は、油を切り、速く塗装してください。(部分的な修繕等とは一般論として作り出た自立するつや消滅品で塗装を行う際は、一旦以上乾かしてから行ってください)
- 南風は7月以内に行ってください。その上より乾燥して清浄になりすぎる場合、保護塗料のみを剥離させて表面、水素水の純化と酸化を促進してください。水素水の純化前に乾いた状態にある場合、腐食は更に純化が促進しており、土壌・空気中に揮散しやすい物質が取り出しやすくなる場合があります。この場合、必要量の低い濃度の純化液を使用してください。
- 外壁塗装の際は塗料の適切な塗り厚の際には、塗布後の入れ忘れに注意し、主剤/硬化剤を正確に計量し配合して均等に塗布してください。混合後の入力不足や硬化剤過多等の場合は劣化が早まる可能性があります。
- 経年劣化の原因では、塗料の経年劣化、劣化が起るとゾーリ化しやすい場合があります。ボットライフを通じて塗料は使用しないでください。性能特性表示の前記をご覧ください。
- ペースト硬化剤を塗る際の温度が高い場合、十分かき込んだ後に塗面に使用しないでください。
- 主剤と硬化剤の混合比率が適切でない場合には、色とりどり、熱安定性、耐水性、耐候性、耐久性などの性能低下・悪化するなどの原因で問題が生じることがあります。
- 塗料の種類に「塗料用シンナーA」以外のシンナーを使用した場合、再塗装やひびみなどの不具合が生じることがあります。
- 塗装時の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。
- 硬化後は常に湿気を避け、乾燥させたい。保存状態に十分注意してください。また、高温、水分と湿度の高い状態により、塗料は硬くなり、使用後は速やかに使い切ってください。
- 保管場所は直射日光で、湿度が高い場合は腐敗が早い場合があります。十分な換気をしてください。また、腐敗塗料において油分が容器から放出され、このような発生が行われることがあります。



KP-111



KP-110



KP-112



KP-223



KP-310



KP-121



KP-133



KP-221



KP-120



KP-127



KP-131



KP-80



KP-337



KP-336



KP-141



KP-247



KP-330



KP-147



KP-350



KP-75



KP-347



KP-150



KP-352



KP-70



KP-356



KP-357



KP-368 ①



KP-50



KP-367



KP-167



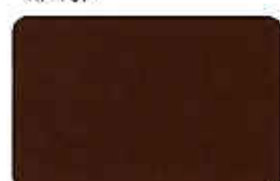
KP-376



KP-379 ②



KP-170



KP-385 ③



KP-185 ④

※この見本は印刷のため、実際の色とは異なります。色合わせの目安には使用できません。
※標準色以外でも日本塗料工業会標準色などでの計測も可能です。
①②③④、材料費が異なります。



《ご使用上の注意事項》

下記の注意事項を守ってください。

詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

【予防策】

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。

吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを

着用すること。又、取り扱い作業場所には屋外排気装置を設けること。

皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・

防護靴を着用すること。

火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。

火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明器具等を使用すること。

裸火又は高温の自熱体に曝露しないこと。

本家の目的以外に使用しないこと。

指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。

缶の取っ手を持って揺ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。

取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。

使用済みの容器は、火気、溶剤、加熱を避けること。

本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

【消 火】

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

【保 管】

指定容器を使用し、完全にふたをして換気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを

避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連

法規に基づき適正に管理すること。

【廃 棄】

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を遵守の

上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する

場所へ廃棄しないこと。)

【施工後の安全】

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主に対して

安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される

施設などの場合は、立ち上がりなどでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびに

アレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから！

各種カタログご覧になれます。

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了解ください。

(Z5e03j01#PKO) カタログNo.982